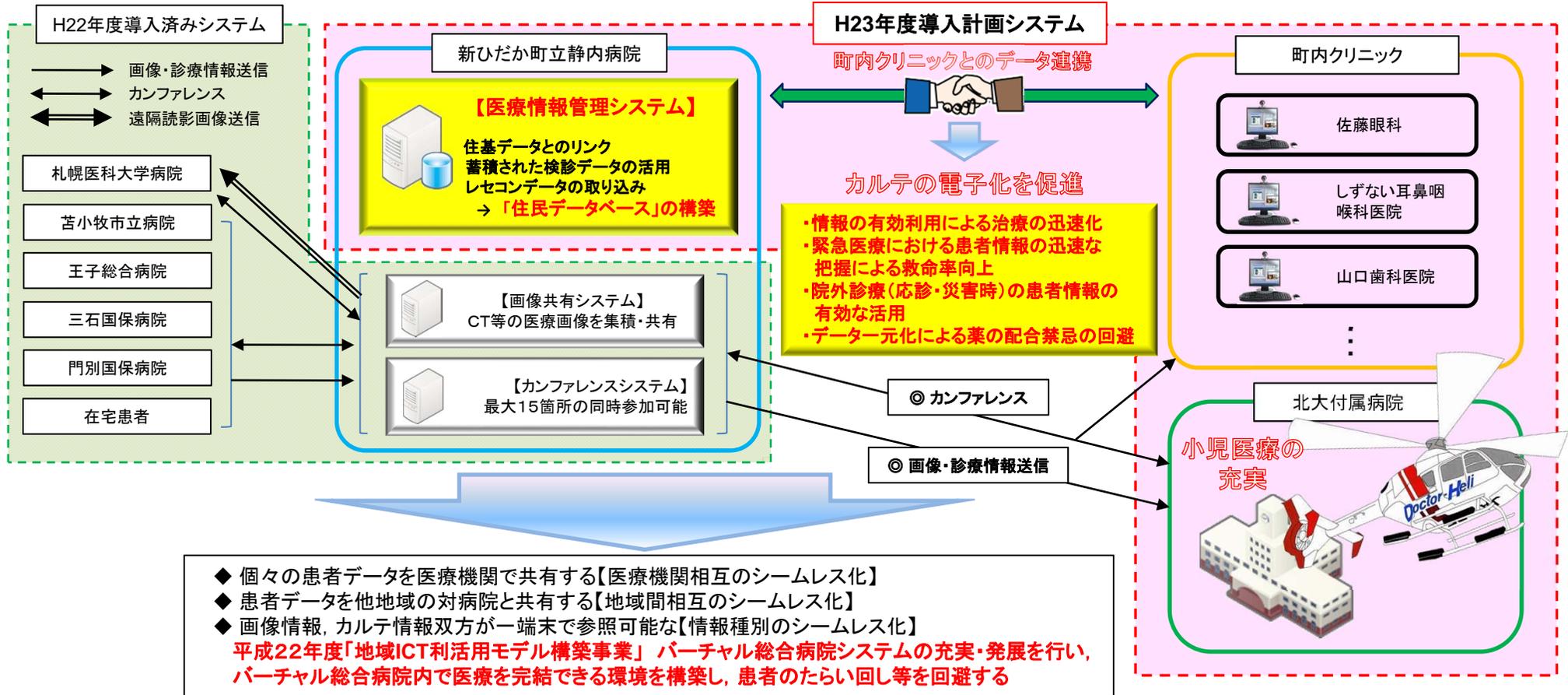


地域ICT利活用広域連携事業・イメージ詳細図

新ひだか町

実施団体名	運営主体(予定)	利活用分野	主なシステム機器等
新ひだか町	新ひだか町立静内病院	遠隔での医療支援, カンファレンス, 在宅医療支援	医療情報管理システム, 画像共有システム, カンファレンスシステム, 在宅医療システム
事業概要		期待される効果	
公的病院を軸とした医療資源の総合保管・共有化ネットワークの実現		地域住民の緊急医療・在宅医療を可能にし, 安心安全定住を目指す	

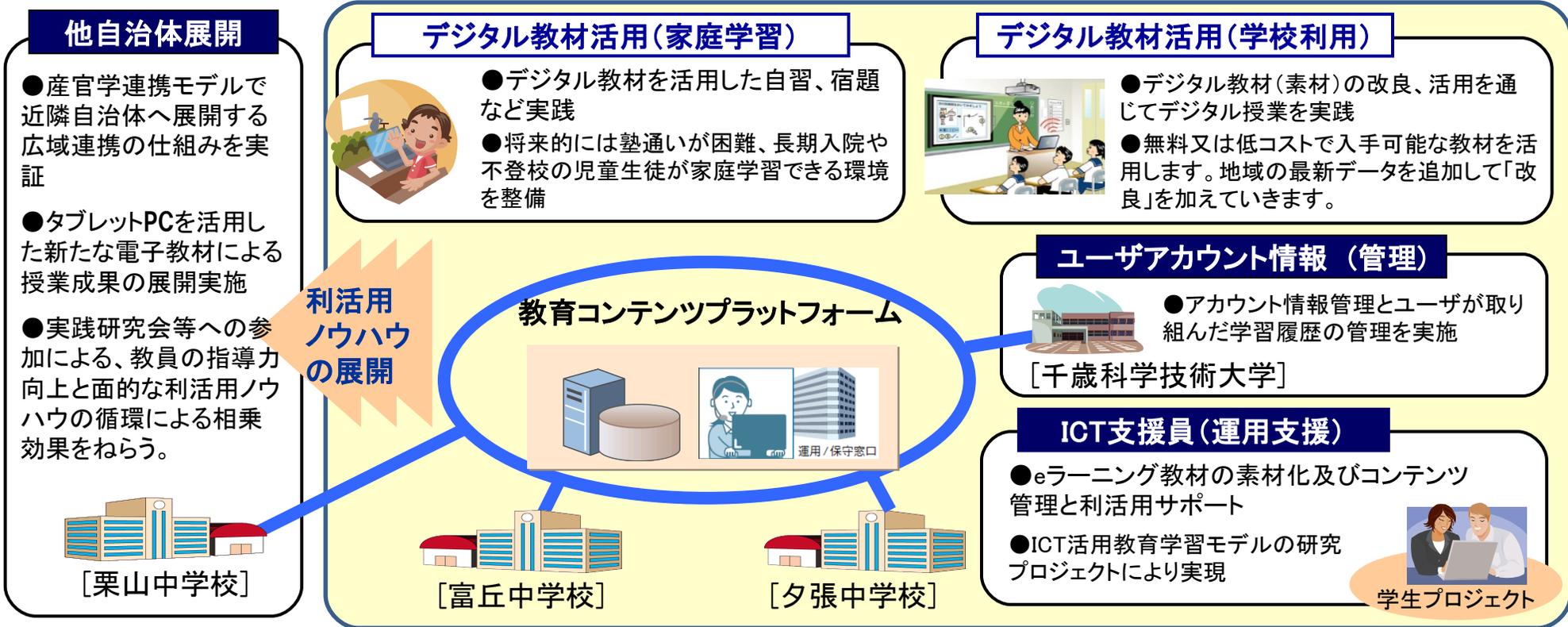


■ 医療情報管理システム
新ひだか町内クリニックとデータを共有し, 当初は検診データの相互参照, レセコンデータの取り込みを行い, 将来的にはカルテの電子化, カルテ情報の相互参照を行い, バーチャル総合病院を実現を目指す

■ 画像共有システム
H22年度に導入した, CTやレントゲン等の画像データを共有するシステム。
H23年度は札幌医科大学病院と共に北海道の中枢病院として機能する北大付属病院を対象に加え本システムの充実を図る

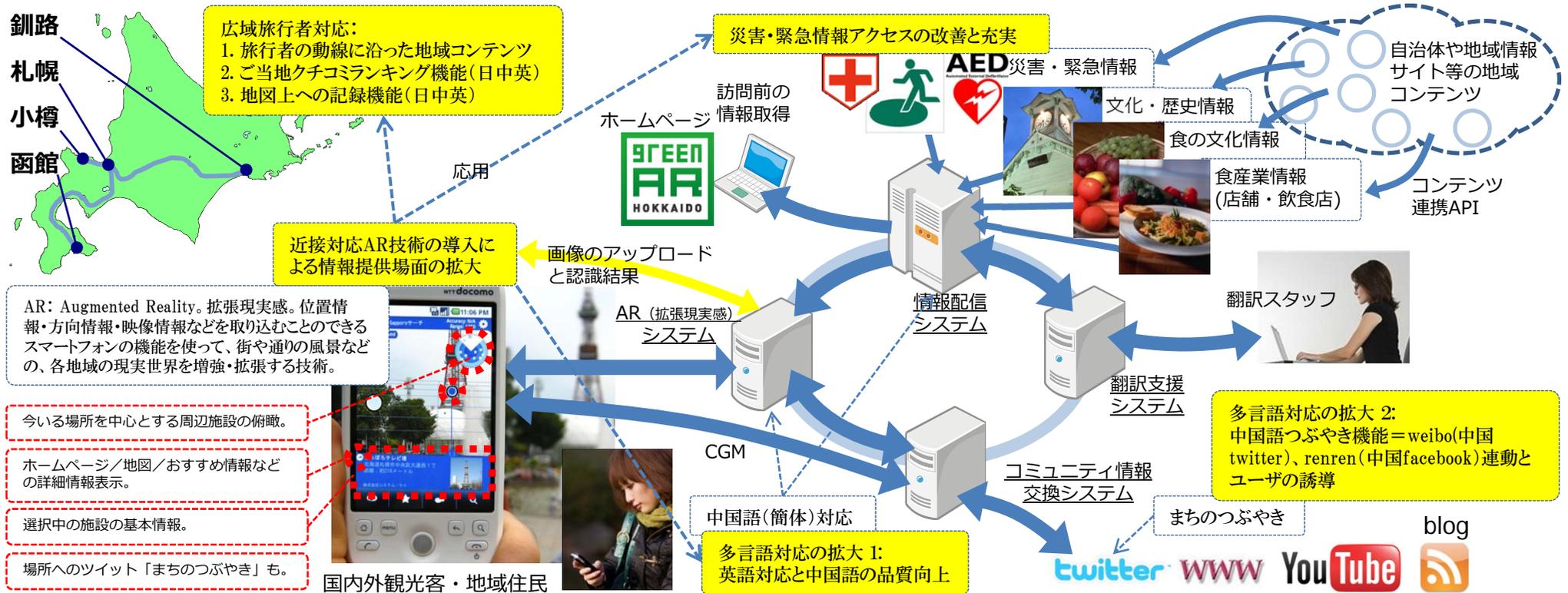
■ カンファレンスシステム
画像共有システムと同様にH22年度に導入したシステムで, Web会議システムによるカンファレンスを実施する。
H23年度は北大付属病院と新ひだか町内クリニックを新たに対象に加え, 本システムの充実を図る

実施団体名	運営主体(予定)	利活用分野	主なシステム機器等
夕張市、千歳市、栗山町	夕張市	教育、文化	タブレットPC、無線LAN、サーバ等
事業概要		期待される効果	
<ul style="list-style-type: none"> ・H22年度に整備した学校ICT環境を他教科へ展開し、全校規模への事業展開を実践する。 ・デジタル教材やeラーニングコンテンツを単元毎に分類するなど、教員が使いやすい環境の整備をする。 ・ICT活用による導入効果を成績などの指標で検討する。 ・本事業のモデルを他自治体へ展開する仕組みを実証する。 ・ICT支援員を派遣しデジタル教材の活用方法等、教員に指導する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教員のICT活用指導力向上により、質の高い教育で学力向上と人材育成を図ります。 ・ICT支援員やICT環境によりICT教育分野の人材育成環境をつくり人材定着を図ります。 ・放課後等や自宅で自学自習できる環境により、学習時間が増え学力向上に繋がる。 	



ICTを利用した「緑の分権改革」推進事業・イメージ詳細図

実施団体名	運営主体	利活用テーマ	主なシステム機器等
NPO法人 札幌ITフロント	NPO法人 札幌ITフロント	「緑の分権改革」 観光立国・地域活性化戦略	クラウド、PC、スマートフォン携帯、AR技術
事業概要		期待される効果	
① AR技術による情報のファインダビリティの向上 ② 地域の公共情報の多言語での発信 ③ 食産業情報の発信と多言語化		① 国内外観光客と地域住民を対象とした地産地消の促進 ② 食の地域ブランド化の推進による地域の経済活性化 ③ 在宅人材の育成と活用	



● ARシステム
 携帯電話を風景にかざすと、撮影された現実の映像の上に情報を重ね合わせて見ることができ、関連情報を取り出すことができる。

● 情報配信システム
 災害・緊急情報、歴史・文化情報、食の文化情報などの公共情報に加え、店舗・飲食店など食産業情報を多言語で配信する。

● コミュニティ情報交換システム
 提供者と利用者がその場・その時に、リアルタイムにコミュニケーションを図れるシステム。

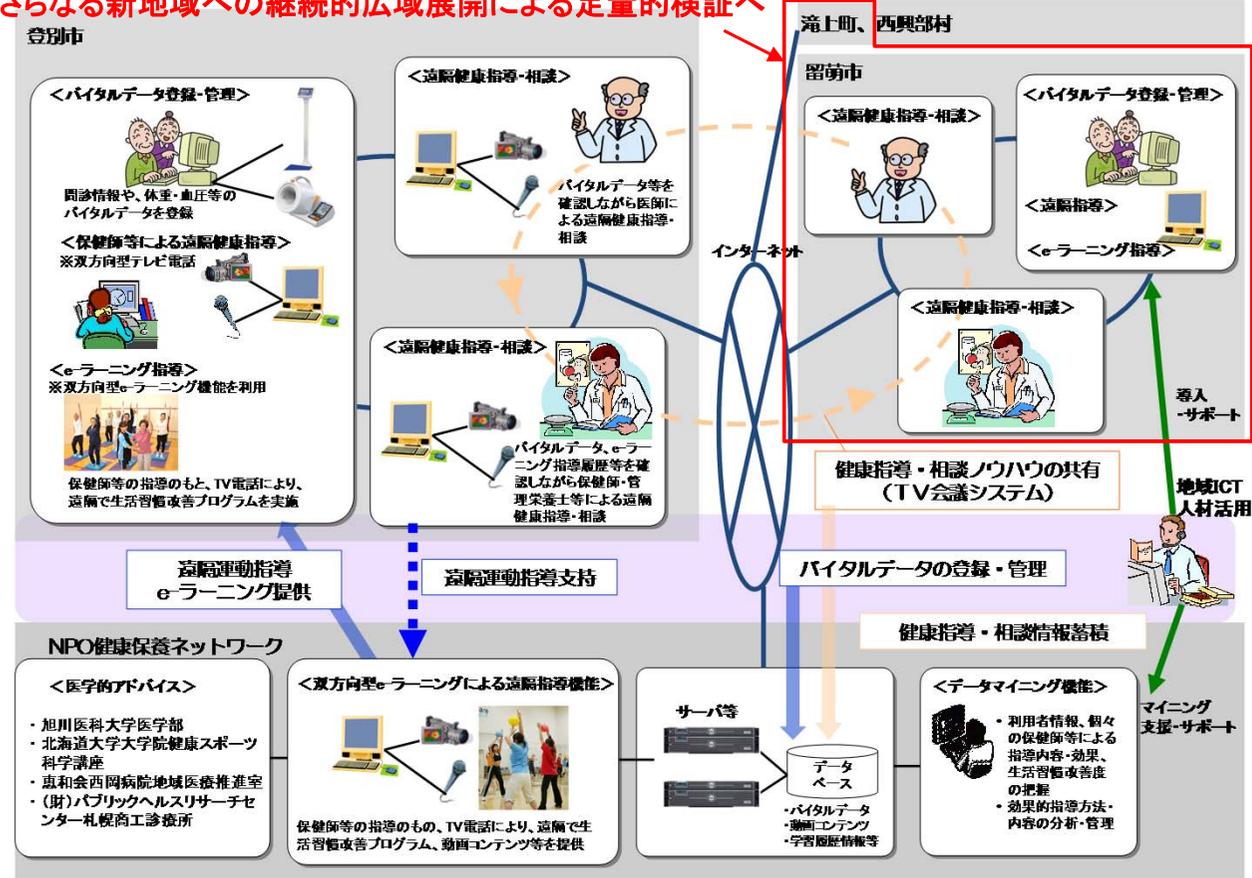
● 翻訳支援システム
 地域の在宅人材を活用して地域情報の多言語化を行うための支援システム。地域からの情報発信を安価に行えるようにする。

凡例：
 H23年度の新機能

実施団体名	運営主体(予定)	利活用テーマ	主なシステム機器等
NPO健康保養ネットワーク	NPO健康保養ネットワーク	健康、医療	遠隔面談健康指導システム、テレビ会議システム、動画型e-ラーニングシステム、バイタル・健康指導内容管理データベースシステム

事業概要	期待される効果
<p>中山間地域における生活習慣病予防・改善を医療機関と連携して効率的に実施するため、複数の自治体を連携する遠隔面談健康指導ネットワークシステムを整備し、さらに遠隔指導をサポートするe-ラーニングシステムを構築する。また、医師・保健師等個々に蓄積された健康指導ノウハウを共有・蓄積することで、地域において効率的・効果的に生活習慣病予防・改善を図る環境を整備する。</p>	<p>医師・保健師等の不足が問題となる過疎地域において、遠隔システムを活用することで、健康増進・保健指導における地理的条件が緩和され、地域格差の是正につながる。また、医師・保健師等が効果的な健康指導方法・内容等を共有・蓄積することで、指導側の質向上にもつながり、地域の健康増進効果が高まり結果として地域における財政負担軽減にも寄与する。</p>

さらなる新地域への継続的広域展開による定量的検証へ



■遠隔面談健康指導システム・TV会議システム
 保健師等による遠隔面談での生活習慣病予防・改善の指導・相談が可能な双方向動画通信システムであり、保健師相互のTV会議システムとしても活用可能である。

■動画型e-ラーニングシステム
 保健師等による生活習慣改善指導を効果的に実践するため、双方向型e-ラーニングによる生活改善指導教育を実施する。また、改善プログラム等の動画配信も可能である。

■バイタル・健康指導内容管理データベースシステム
 バイタルデータを継続的に蓄積することで、サービスのオーダーメイド化に寄与し、また、緊急時の対応を可能とする。また個々人に依存しがちな健康相談・指導ノウハウ蓄積により効果的な指導内容・方法の標準化につながる。